

五月乙女団地自治会

防災に関する活動紹介

五月乙女団地自治会について

福島市沖高
世帯数 196世帯

4分の1が
一人暮らし

75歳以上の一人暮らし
18人

75歳以下の一人暮らし
を含めると
45人

小学生（1～6年生） 10人

五月乙女団地自治会について

令和4年3月
地震発生時

役員数名で
一人暮らし
高齢者世帯の
安否確認を実施

五月乙女団地自治会について

南側には八反田川が
流れている

(令和3年8月大雨警報
発令時、上流の護岸崩落)



八反田川の護岸一部崩落

コロナ前は・・・

- ① やぐらを組み立て **夏祭り**を20年ほど実施
- ② 古希、傘寿お祝い会も開催
- ③ 小学生と一緒に夏・冬の二回、町内会の安全パトロール
拍子木を鳴らして **「火の用心」** 呼びかけ

コロナ前の自主防災組織について

- ① 自主防災組織表を全家庭に配付
- ② 防災訓練は毎年実施
消火訓練、心肺蘇生法、けが人の搬送訓練、
応急手当訓練、AED取扱い訓練などを実施
- ③ 防災訓練後は、炊き出し訓練と称して芋煮会
実施

コロナ禍で・・・

自粛で防災訓練も中止

あらゆる行事も中止となる

防災訓練を実施するためどうしたら？

令和3年に自主防災組織として新たに
安否確認班 を設置していた



安否確認訓練であれば、コロナ禍でも
密にならない訓練が出来ると考えた

令和4年度自主防災訓練

安否確認訓練の実施内容

訓練実施日：令和4年10月9日（日）10時～

訓練前に

一人暮らしの方には、
地震発生後、大丈夫であれば
タオル等を玄関に掲げる
よう依頼していた



訓練当日10時に
地震が発生
との想定で訓練を開始



訓練開始と同時に
各班長は、
自分の班内の
安否確認を実施

一人暮らしの方がタオル等を玄関に掲げた状況



結果

一人暮らしの方
18人中、9人が
タオル等を玄関に
掲げてくれた

安否確認訓練の後に実施

- ①訓練実施後、消防署員の短時間でできる**ミニ防災講話**を実施した（密にならないようにした）

「防災食」「防災三種の神器」の講話実施

- ②高齢者世帯の防火対策で、住宅用火災警報器の未設置世帯への声掛けを消防署にお願いした（訓練実施後）

住宅用火災警報器を設置 8世帯

今後の取り組み

安否確認訓練を継続して実施

高齢者がいる家族を含めた訓練を
定期的に実施していきたい